

## 活動報告

■活動日時： 2024年7月6日（土） 9:30~15:40

■プログラム名：カブトムシの森 草刈とせせらぎ整備

■活動場所：カブトムシの森ABC地区

■参加者：8名

■活動概要：遊歩道沿いの草刈りとせせらぎ整備

■活動内容：

梅雨の中日で、福岡での最高気温35度と酷暑での活動となりました。事前に熱中症対策として、凍らせたペットボトル、十分な飲み物、塩飴等の持参を呼びかけ、万全の対策をして活動に臨みました。幸い、時々風もあり日陰は快適、通常より多めの休憩を挟みながら作業を行いました。

<午前の活動>

自然観察センター前で、作業説明、体操を行い、道具を積んで、カブトムシの森へ移動。B地区東屋に道具を下ろし、草刈り班とせせらぎ整備班に分かれて活動を行いました。

はじめに、全員でB地区からA地区での希少植物の確認を行い、切っけはいけないものにピンクのリボンを付けました。草刈り班は、刈り払い機2台を導入。刈り払い機操作者と刈り払い機の周辺での事故防止のための監視者の2人一組で作業を行いました。A地区では2か所に分かれて、傾斜の下の方向から上に向けて遊歩道沿い1mの草を刈りました。

<午後の活動>

C地区の遊歩道沿いの草刈り。道が見えないくらい覆われていたので、刈り払い機で行いました。

皆、汗だくになりながらの作業でしたが、熱中症なく無事に終わりました。せせらぎ整備班は、B地区のせせらぎが、3mほどのイタドリなどで遊歩道から見えなくなっていたものを、果敢に手鎌で刈り取りました。また、せせらぎに入りやすいように遊歩道からの草刈りを行いました。せせらぎ周辺は日陰も多く、思ったより暑さも厳しくなく、さわやかな風の中での作業となりました。親子連れの来園者も何組かカブ森を散策されており、「カブトムシはいますか？」など質問される場面もありました。

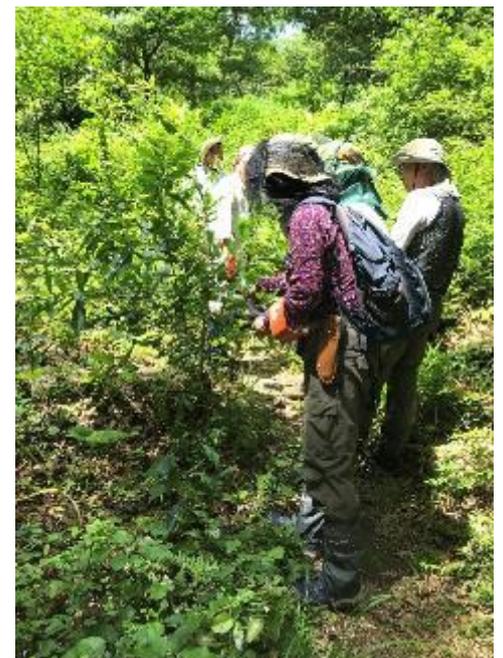
<まとめ>

カブトムシの森の遊歩道沿いは、A地区からC地区まで草刈りを行い歩きやすくなった、B地区のせせらぎは歩道からも見えカブトムシの森に夏休み子どもたちが入りやすくなったと思う。

また、A地区入口には、カブトムシの森や森を育てる会を紹介するためのリーフレットBOXを設置した。



【作業前 草深い遊歩道】



【希少植物 印つけ】



【せせらぎ整備】



【草払い機導入】



【遊歩道作業中 すっきり】



【森会リーフレット BOX 設置】

